

第 41 回 三条市小中一貫教育推進委員会 会議録

1 開会宣言 令和 6 年 6 月 28 日（金） 午前 10 時 00 分

2 場 所 三条市役所栄庁舎大会議室

3 出席状況

- (1) 出席委員 雲尾 周 委員長、高橋 喜一郎 副委員長
渡邊 伸明 委員、小潟 雄一 委員、田村 和弘 委員、
小林 要 委員、小澤 邦夫 委員、高綱 誠 委員、
高橋 雅博 委員、金子 純一 委員、
住吉 英明 委員（代理 松木 弘子）、
鮮良 靖宏 委員、中村 正之 委員、野口 典弘 委員、
浅間 正直 委員、目黒 聡 委員 （16 人）
- (2) 欠席委員 長谷川 洋志 委員、新飯田 正 委員、藤田 芙美 委員（3 人）

(3) 事務局職員

教育長 高橋 誠一郎
教育部長 平岡 義規
教育総務課長 野水 裕晃
子育て支援課長 小林 正芳
学校教育課長 相田 覚
教育センター長 森田 雅弘
統括指導主事 畑 宏幸、指導主事 秦野 真一、
指導主事 武石 和仁、指導主事 藤井 佳介、
指導主事 高橋 将也、特別指導主事 中村 義則、
特別指導主事 和田 薫

4 傍聴人 小林 吾郎 教育長職務代理委員

5 会議次第

- (1) 開会
(2) 開会のあいさつ
(3) 報告
(4) 議事
(5) その他

(6) 閉会のあいさつ

(7) 閉会

6 会議の経過及び結果

(事務局 畑)

役職の交代があった委員には、委嘱状を配布いたしました。後任の委員は、前任の在任期間を担うこととなります。したがって、委員の任期は、令和6年12月31日までとなります。

委員の再任は妨げないとの要綱の規定で、令和7年1月1日以降も引き続き委員をお願いしたいと考えています。

(1) 開会のあいさつ

(雲尾委員長)

昨年5月にコロナが5類移行いたしまして、学校の活動も戻ってきて1年経ったところでございます。私も、新潟市内の二つの学校で学校運営協議会の委員をしておりますけれども、どちらの学校も前の状況に戻っています。あと、働き方改革もあって、少し軽減した部分もございますけれども、学校の活動も既に戻ってきているところがございますし、今は、修学旅行シーズンで県外も含め、いろいろ活動しているところです。小中一貫教育につきましても、新しい段階で進められる状況になってきたかと思えます。そういうことを踏まえて、本日も活発な御審議のほどよろしく申し上げます。

<自己紹介 雲尾委員長から順に委員の自己紹介、事務局の自己紹介>

(2) 報告

(事務局 畑)

出席者数の確認 出席者19人の委員の内、16人の委員の出席で、規定により半数以上の出席があるので、本会議は成立しました。

第40回小中一貫教育推進委員会検討内容（概略）及び実施状況

・事務局 畑が説明(資料No.1、別紙)

(雲尾委員長)

ただいまの説明につきまして御意見のある方はございますでしょうか。

[質疑なし]

(3) 議事

「令和6年度小中一貫教育の推進」について

- ・事務局 畑が説明(資料No.2-1、別紙)

(雲尾委員長)

事務局から学園の小小交流や小中交流の活動が減少していることが課題として示されました。各学園の実態と今年度の計画について情報提供をお願いします。三条嵐南学園から順番をお願いします。

- ・各学園の小中一貫教育推進リーダーから学園の取組内容を説明
[質疑なし]

7 その他

(渡邊委員)

各学園の計画について、子供たちの学びが豊かになるように、計画を取捨選択し、職員の負担感が少しでも軽減できるようにしてほしいと思います。

(小瀧委員)

本会が小中一貫の理念を立ち返りながら進めていることに価値があります。次に、学級づくり、授業づくりで、長岡附属校園でお手伝いできることがあればぜひ関わらせてほしいと思います。最後に、小中一貫教育の効果として、より多くの教員が子供に関わる体制が確保できるという観点で、子供の内面に寄り添った三条市の取組に学ばせてください。

(浅間委員)

体験学習については、1回でなく、3回はあっても良いのではないかと。3回目で、ものごとを決められるようになるのではないかと思います。

(目黒委員)

今回の会議を聞いて、三条市の各学校の先生方が熱心に教育に取り組んでいることに感銘しています。教員のなり手が少なくなっている中で、三条市の教育に一生懸命やっていると感謝の気持ちしかありません。

8 閉会

閉会のあいさつ 高橋副委員長

以前、全国の附属学校で幼小中一貫教育とうたっているところを視察に行った中で、長野県の松本が、本気で一貫教育をやっていました。幼稚園の育ちや学びを小学校が受けて、小学校の授業を変えていました。

そこで、小学校、中学校の校長先生に、一番のポイントは何かと聞いたところ、「小学校、中学校の校長、管理職が幼稚園の取組を知っていることだ」と言っていました。今の小中一貫教育でも、小学校、中学校、それぞれの教育ってこんな特徴があって、こんな価値があるんだなということ、本当に分かっていることが第一歩なの

かなと思っています。そうした上で、小学校はこう、中学校はこうということを超えて、新しい小中一貫教育のやり方を考えていけるんじゃないかなと思いつながら、今進めています。

ぜひ、それぞれの学園でよい小中一貫教育を進めてほしいなど、自分のところも含めて思っています。本日はありがとうございました。

(事務局 武石)

今回は10月～11月ごろに開催予定です。日時が決まり次第連絡します。

教育センター通信を、学校関係者以外の委員の皆様にも、毎月1回送付しますので御覧ください。

事務連絡で、本日、書類をお持ちいただいた方で、まだ書類の提出をいただいていない方がありましたら、会の終了後に提出をお願いします。

9 閉会宣言 午前11時34分